

修学旅行

学校生活で一番大切なものは各教科等の授業です。授業以外には、学校行事があります。それぞれの行事には、そのねらいがあります。皆さんの3年間に及ぶ中学校生活で考えると、1年生の入学式、3年生の卒業式が二大行事と言えるのではないのでしょうか。これらの次にくるのが3年生の修学旅行かもしれません。

私のことなので、だいぶ古い話になります。中学3年生の修学旅行で東京・横浜に行きました。ある出来事がありました。そのことにより、私にとっての修学旅行は、苦い思い出となっています。

班で一つカメラを持っていくことになりました。私には、6歳上の兄がいます。その兄が、ちょうど新しいカメラを買ったところでした。私は、うちにカメラがあるから自分が持っていくといった感じで、軽く引き受けました。実際には、使ったこともないため、使い方もよくわからないにもかかわらずです。

修学旅行の出発日を迎えました。試しに写真を撮ろうとしましたが、写りません。原因はすぐに判明しました。電池切れでした。カメラを忘れないようにとは意識が働きましたが、電池のことまでには考えが及びませんでした。

一気に地獄（じごく）に突き落とされた気分です。他の班が楽しそうに写真を撮っているときに、私の班だけは写真を撮ることができません。移動中のバスの中から、カメラの電池が売っていきそうなどころはないかと探しました。だからといって、私の都合でバスを止めることなどあり得ません。

つらい3日間でした。表面上は楽しそうにふるまっていましたが、内心は落ち込んでいました。修学旅行が終わっても、まだ苦難（くなん）は続きます。旅行のまとめの活動のときにも写真がないのです。卒業アルバムを見ると、横浜の宿舎での写真が載っています。そこには、笑顔の自分がいます。あれは、精一杯の笑顔だったのだと思います。

私にとっての修学旅行は、何ともほろ苦い味のものでした。3年生の皆さんにとっての修学旅行は、どのようなものだったのでしょうか。コロナ禍の状況により、何度も何度も計画を変更してきました。それでも、3年生の先生方は、「修学旅行だけは何とか実施したい」という強い思いで、学年主任の先生方を中心に、準備を進めてきました。

1・2年生の校外学習も同じです。1・2年生の先生方は、「校外学習だけは」という思いで、目的地や日程を検討してきました。何度も、計画を変更してきました。今回の修学旅行と校外学習には、そんな先生方の思いが凝縮（ぎょうしゅく）されていたわけです。*凝縮（ぎょうしゅく） 趣旨・内容などを一点に集中させること。

学校行事は、学校生活に潤（うるお）いと変化をもたらします。思い出も残してくれます。修学旅行と校外学習は、その典型（てんけい）とも言えるものです。